

八百津町ふるさと応援寄附金の 平成29年度の活用実績を報告します。



平成29年度八百津町ふるさと応援寄附金に、全国各地の皆様から、

12,999件 208,031,101円 のご寄附をいただきました。

皆様の熱い「声援・おmoi」のこもったこの寄附金は、以下のように八百津町のまちづくりの各種事業に有効に活用させていただきました。誠にありがとうございました。

平成29年度八百津町ふるさと応援寄附金を活用した事業

(事業費の一部として、以下の事業に活用させていただきました。)

選択されたメニュー	件数	金額(円)	活用事業
1. 笑顔で寄り添う福祉と健康のまちづくり	2,641	42,895,000	子育て支援と福祉の充実のために、赤ちゃんから中学校卒業までの子どもや障がい者の方への医療費の助成、学童保育事業、また、妊婦健診事業や長寿者表彰など敬老の日記念事業に活用いたしました。
2. 快適な生活を過ごせる安心・安全なまちづくり	1,479	23,659,001	災害に強いまちづくりを目指して、防災リーダー養成講座の開催、自主防災組織の活動支援、AED機器の整備、防災無線個別受信機の整備、Jアラート受信機の整備、暮らしやすいまちの整備のために町道の改良事業、また、自然と共生したまちづくりを進めるために公園の管理費に活用いたしました。
3. 優しく郷土愛を育む歴史・文化のまちづくり	1,072	16,813,000	将来を担う子どもたちの教育環境の充実のために、小・中学校への支援員の配置、また、地域文化と生涯スポーツの振興を図るため指定文化財保護費の補助、芸術文化団体への補助、スポーツ活動組織への支援に活用いたしました。
4. ともに考え、ともに創る魅力・にぎわいのまちづくり	525	7,552,100	町民による主体的なまちづくり活動を応援するために、協働のまちづくり事業への補助、商業の活性化を促すために、拠点となる商店街の空き店舗のリノベーションと、その拠点でのイベントやワークショップを行うまちなかにぎわい創出事業、また、第一次産業に取り組む農林業者が、生産だけではなく加工（第二次）や流通販売（第三次）まで行うことで経営の多角化を進める取り組みに対する六次産業化推進対策事業の補助に活用いたしました。
5. 数千人もの命を救った杉原千畝「後生に伝えたい、平和の大切さを」	960	1,680,000	杉原千畝の命日（7月31日）を含む1週間を杉原ウィークとして開催したコンサートなどのイベント費用、広域観光ルートづくりのための杉原千畝ルートPR事業に活用いたしました。
		13,000,000	平成30年度以降の事業に活用するため、「杉原千畝記念基金」に積立て、今後活用いたします。
6. 八百津町のためになることならなんでも応援	6,322	23,432,000	観光振興の一環として設置した無料Wi-Fiスポットに係る管理費、移住・定住促進の一環として空き家改修の助成や新築住宅取得時の助成、観光ラッピングPHVタクシーを運行し観光及び交通の両面から底上げする元気タクシー事業、基礎的なインフラである町道の側溝改良事業に活用いたしました。
		79,000,000	平成30年度以降の事業に活用するため、「明日のまちづくり基金」に積立て、今後活用いたします。
合計	12,999	208,031,101	

平成28年度に、「明日のまちづくり基金」に積み立てた、ふるさと応援寄附金につきましては、取り崩しを行い、観光の振興のために、人道の丘公園の整備事業（トイレ改修、遊具改修など）に、また児童・生徒の教育環境の充実のため学校施設整備事業（久田見小学校トイレ改修、東部中学校屋上防水改修など）に、また、生涯学習の推進を図るため、その拠点となる社会教育施設整備事業（中央公民館大ホール改修、錦津公民館屋上防水改修）などのまちづくり事業の事業費の一部に活用させていただきました。

また、同じく「杉原千畝記念基金」に積み立てた、ふるさと応援寄附金につきましては、一部を取り崩し、杉原千畝の発行したビザによって実際に生き延びたサバイバーによる講演会の開催、特産品の八百津せんべいを使用して杉原千畝の肖像画を制作し、せんべいの枚数、肖像画の大きさによりギネス世界記録認定を目指すイベントの開催、杉原千畝の精神を受け継ぐ町をテーマとしたプロジェクションマッピングや地元の子どもたちが平和へのメッセージが描かれたランタンのリリースイベントを開催するなど、世界記憶遺産登録推進事業や杉原千畝顕彰事業の一部に活用させていただきました。